

那須地域定住自立圏における 公共交通の連携について

那須地域定住自立圏活性化協議会
事務局 那須塩原市交通防犯課



那珂川町 なかちゃん



大田原市 与一くん



那須塩原市 みるひい



那須町 きゅーびー

1 那須地域定住自立圏について

(1) 那須地域ってどんなところ？

- 那須地域は、栃木県の北部に位置し、東京から約150kmのところにあります。
- 圏域内には、JR東北本線の駅が6駅あり（内1駅は新幹線駅の那須塩原駅）、東北縦貫自動車道や国道4号といった重要な交通幹線が圏域内を通っています。
- 那須地域の産業は、圏域内各所に点在する工業団地（ブリヂストン、資生堂、富士通、カゴメ等）での製造業、広大な那須野が原扇状地を活用した農業（日本三大疏水の那須疏水がある）及び酪農業（那須塩原市は生乳産出額全国第2位）、日光国立公園内にある那須温泉や塩原温泉等を中心とした観光業等、多彩な産業を抱えています。



「九尾の狐」伝説に
まつわる史跡殺生石



那須疏水の頭首工



千本松牧場の牛乳



温泉トラフグ



那珂川の観光やな

1 那須地域定住自立圏について

(2) 那須地域定住自立圏の構成

- 平成26年4月1日に那須地域定住自立圏推進協議会を設立。

【参加自治体とR7.12.1現在の人口】

◆大田原市	68,639人	
◆那須塩原市（中心市）	112,846人	
◆那須町	23,326人	
◆那珂川町	13,836人	合計 218,647人



- 平成27年2月に那須地域4市町で「那須地域定住自立圏形成協定」を締結し、那須地域定住自立圏が正式に発足。
- 平成27年11月に「那須地域定住自立圏共生ビジョン」を策定し、公共交通を含む定住自立圏内の各種連携事業を開始（現在、令和6年11月策定の第3次共生ビジョンを推進中）。

【3次計画の連携事業】

再生可能エネルギー適正利用推進事業、自然との共生社会の実現、気候変動対策事業、観光宣伝事業、農観商工連携推進事業、アートのまちづくり事業、**公共交通ネットワーク事業**、那須塩原駅東口バリアフリー化事業、移住・定住サポート事業、結婚サポート事業、公共施設の最適配置調査事業、高校生 Third Place Project、圏域マネジメント研修事業、外部人材招へい事業、オープンデータ推進事業

計15事業

2 那須地域定住自立圏における公共交通の連携

(1) 公共交通の広域連携に関する経過

平成28年 1月 広域での交通ネットワークの構築に向け、那須地域で初めての広域交通実態調査を開始（平成29年度までの継続事業）

平成28年12月 那須地域定住自立圏地域公共交通活性化協議会を設立

構成メンバー：4市町の市町長、各市町自治会の代表者、関東運輸局、
栃木県県土整備部、県バス及びタクシー協会 等

交通アドバイザー：福島大学/前橋工科大学 吉田教授

→広域交通網形成計画の作成主体として、以降、計画策定に向け準備を開始

平成30年 1月 那須地域定住自立圏地域公共交通網形成計画（H30～R4）を策定

平成30年 4月 計画期間の開始

令和 5年 1月 那須地域定住自立圏地域公共交通網形成計画計画期間満了に伴い第2次那須地域定住自立圏地域公共交通計画（R5～R9）を策定

令和 5年 4月 4市町共同で計画事業を推進し、現在第2次計画の3年目

2 那須地域定住自立圏における公共交通の連携

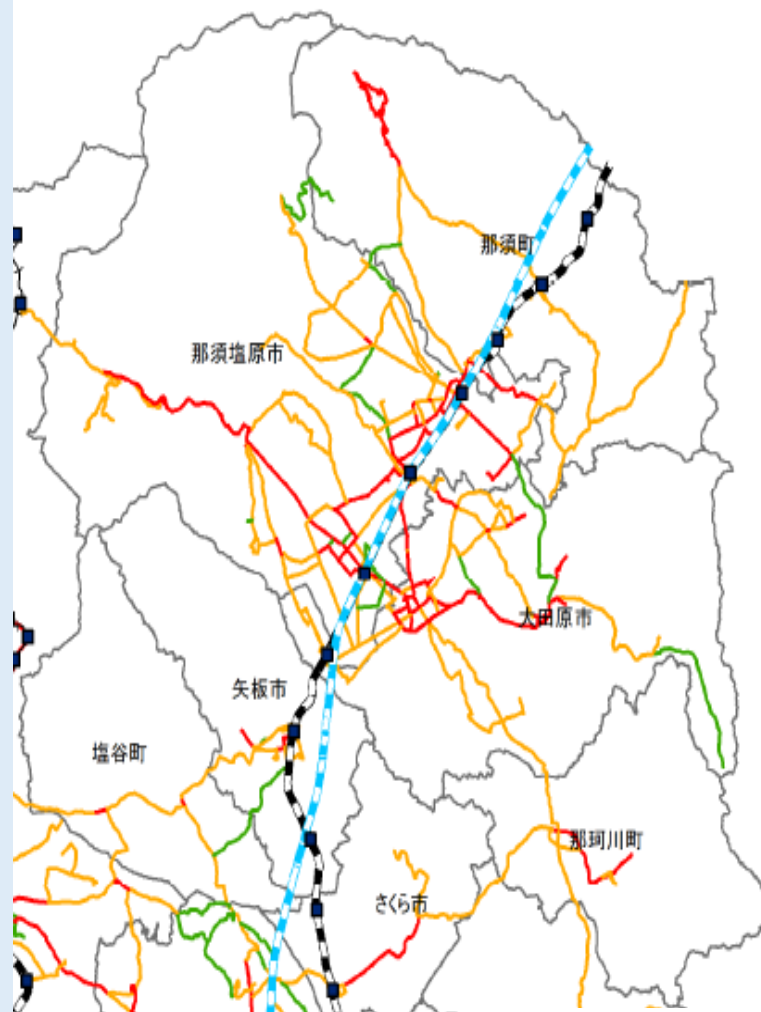
(2) 広域交通実態調査の結果

約2年間に渡って実施した広域での交通実態調査の結果、次を課題として整理しました。

【主な課題等】

- ① JR各駅と圏域内各所の総合病院や県立高校を移動する人の流れが多く、この移動を補う主要なバス路線を幹線系統に位置づけ、幹線系統の確保・維持を行う必要がある。
- ② 鉄道からバスや異なるバス路線間の乗換時間が長く、また、乗換えを行うバス停の場所が異なり乗継性も悪い。
- ③ 各市町が運行するコミュニティ交通が行政界で分断されており、行政界を跨ぐ移動ニーズへの対応が必要。
- ④ 同じ場所なのに路線ごとに異なる名称のバス停の存在や、交通情報の提供不足による利用者の分かりづらさ。

【那須地域のバス路線図】



【那須地域の高等学校・病院】



出典：とちぎの公共交通

2 那須地域定住自立圏における公共交通の連携

(3) 那須地域定住自立圏地域公共交通網形成計画の概要

【計画期間】

平成30年4月～令和5年3月（5年間）

【基本理念】

那須地域定住自立圏4市町の連携による

住民と観光等でともに利用できる

「住み続けたいくなる」「おでかけしたいくなる」

定住と交流に資する公共交通ネットワークの構築

【計画目標】

目標1：広域拠点及び生活拠点へのシームレスな公共交通網を実現します。

目標2：地域住民だけでなく来訪者にとっても「分かりやすい公共交通」を実現し、新たな人の流れを作ります。

目標3：持続可能な公共交通基盤を構築します。

(4) 計画事業

目標1 関連

- ・幹線区間サービス目標の設定と達成に向けた事業展開
- ・対象路線の運賃体系の見直し
- ・共通乗車券の発行
- ・行政界におけるコミュニティ交通相互の接続

目標2 関連

- ・那須地域公共交通マップの作成・配布
- ・バス停名称の統一
- ・路線番号の設定
- ・バスのりば案内板の設置
- ・行政界を越えた観光地間を結ぶ路線の運行

目標3 関連

- ・民間バス路線の利用促進
- ・タクシーの利用促進

合計11事業

2 那須地域定住自立圏における公共交通の連携

(5) 第2次広域公共交通計画の概要

【計画期間】

令和5年4月～令和9年3月（5年間）

【基本理念】

那須地域定住自立圏4市町の連携による

住民と観光等でともに利用できる

「住み続けたいくなる」「おでかけしたいくなる」

定住と交流に資する公共交通ネットワークの構築

【計画目標】

目標1：広域での公共交通機関の連続性を確保します。

目標2：運行効率・運行収支率の向上を目指します。

目標3：社会要請・価値観多様化・技術革新等への対応を目指します。

(6) 計画事業

目標1 関連

- ・広域連携バス路線等の整備
- ・行政界におけるコミュニティバスの相互運行、共同運行
- ・タクシー利用促進の支援
- ・交通系ICカードの共同導入
- ・4市町路線バスの運賃区分の統一
- ・共通乗車券の対象拡大
- ・公共交通のりば案内板の設置
- ・GTFSデータを活用した公共交通情報の充実

目標2 関連

- ・路線バスの共同運行、広域交通事務局（交通局）設立の検討
- ・貨客運送効率化事業（運送収入増に向けた貨客混載の実証実験等）
- ・那須地域公共交通マップの作成・配布（既存マップの時点修正版）
- ・中学3年生を対象とした高校1日体験学習時の路線バス無料乗車イベント

目標3 関連

- ・電気バス車両の導入促進
- ・グリーンスローモビリティ、自動運転車両等の導入検討

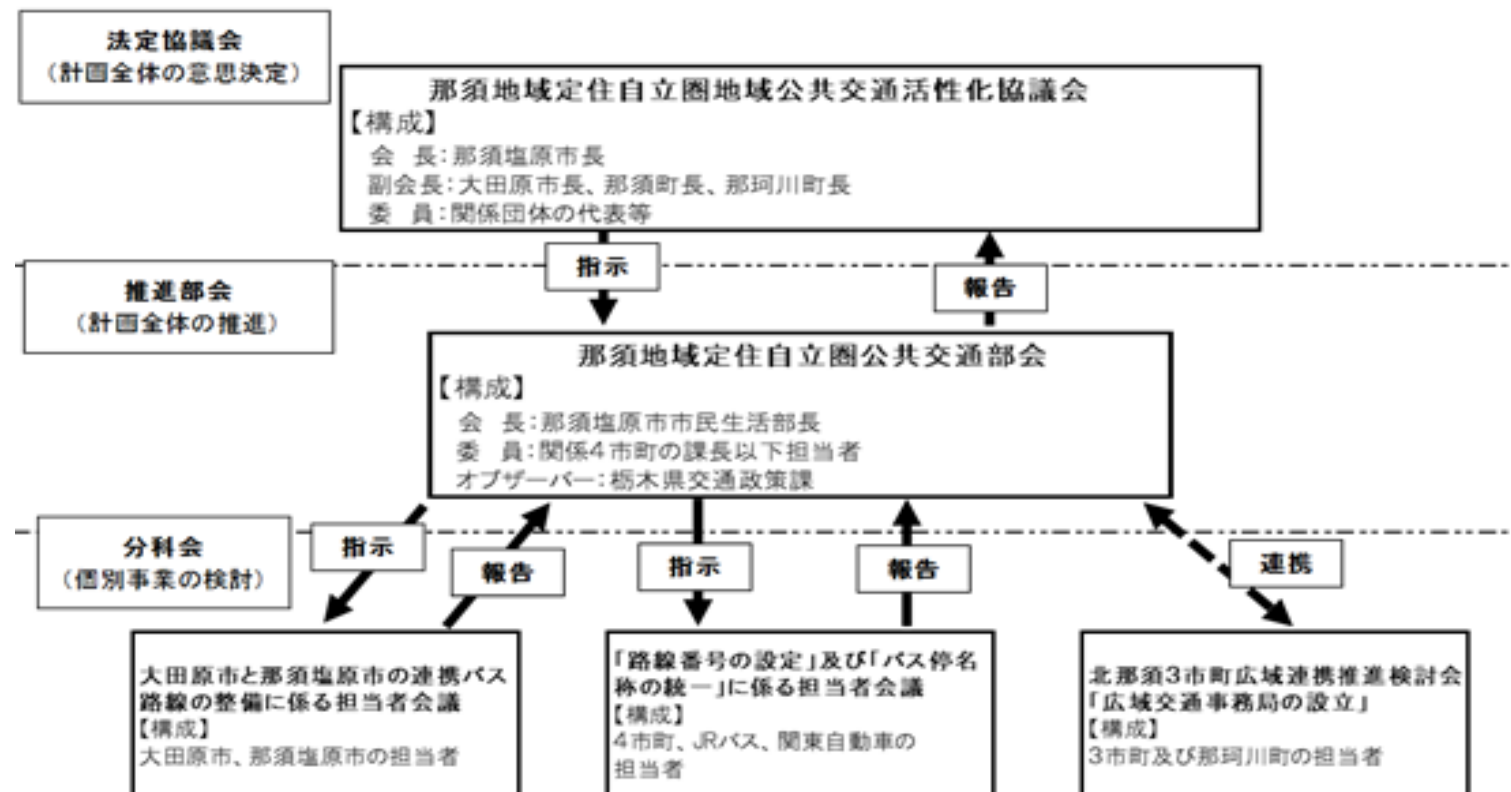
合計14事業

3 広域連携事業の取組について

(1) 推進体制

計画事業の推進については、「活性化協議会」の下部組織である「公共交通部会」を定期的に行き開催し、個別案件の協議等については、その都度、メンバーを変えながら担当者会議を開催し推進しています。

【参考】令和2年度の推進体制



3 広域連携事業の取組について

(2) 主な連携事業（計画事業）

① 広域公共交通マップの作成

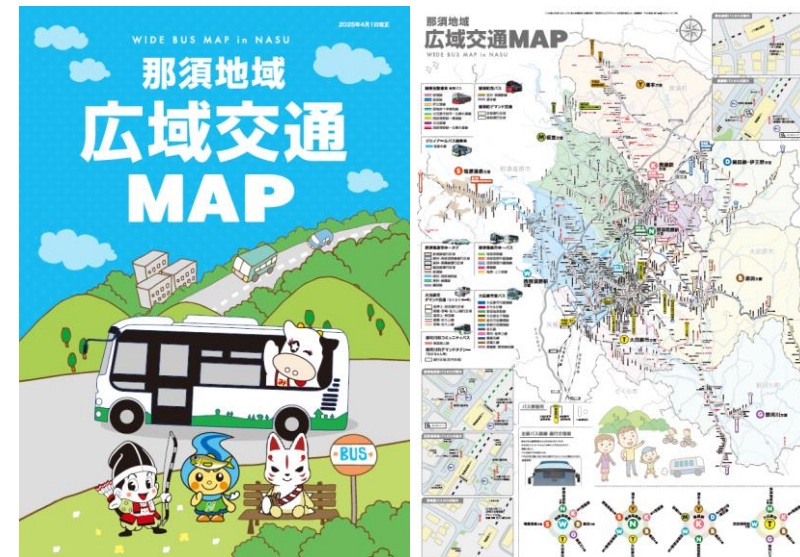
那須地域内を運行する路線バス（民間バス路線含む）及びデマンド交通を網羅した広域公共交通マップを作成し、那須定住圏域内の各所で配布を行っています。

【配布数等】

- 令和元年度～令和4年度：次年度配布用として、毎年30,000枚作成（A2版）
- 令和5年度：次年度各市町の施設等への掲載用として、500枚を作成（A0版両面）
- 令和6年度：次年度配布用として、18,000枚作成（A1版）

【内容】

- 那須地域の公共交通を利用した「おでかけ」を意識し、公共交通機関の路線図のほか、病院、行政機関、高校、観光施設などを記載
- 令和2年度作成分からは、バス路線番号も記載
- 令和5年度版からは、全ての停留所名を記載



3 広域連携事業の取組について

② バス路線番号の設定

那須地域内を運行する市町営バス及び民間路線バスについて、乗車するバスが「どこを經由してどこに行くのか」が観光客等を含めた利用者に分かるよう、バスの「行き先」をナンバリングし、バス車両方向幕への表示や広域公共交通マップへの反映を行いました。

【実施時期】

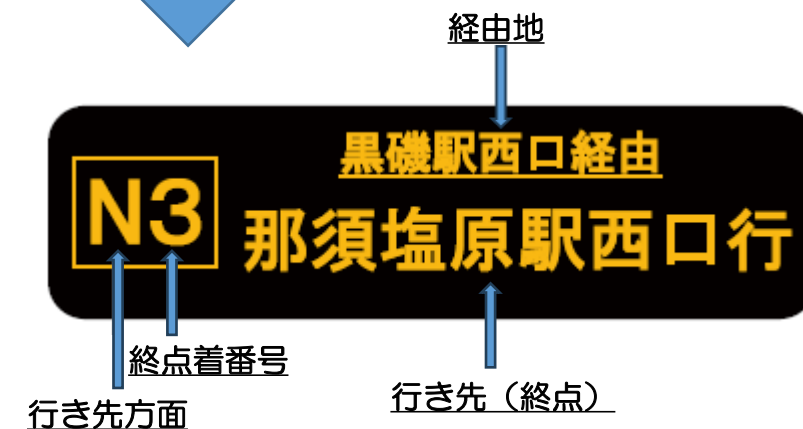
- 令和2年度（令和3年4月から運用開始） 事業費3,487千円（LED方向幕）

【内容】

- 交通アドバイザーからの助言を受け、行き先方面をアルファベットに、終着点を番号化し新たにバス路線番号を設定
- 那須定住4市町と民間路線バスを運行するジェイアールバス関東株式会社と関東自動車株式会社の6者で協議を行い、令和3年4月から那須地域を運行する路線バスを対象に車両のLED方向幕等で「バス路線番号」の運用を開始

目的地名	数字	英字	おおよその方面
西那須野駅西口	1	W	西那須野駅方面路線
西那須野駅東口	2	W	西那須野駅方面路線
那須塩原駅西口	3	N	那須塩原駅方面路線
那須塩原駅東口	4	N	那須塩原駅方面路線
黒磯駅西口	5	K	黒磯駅方面路線
黒磯駅東口	6	K	黒磯駅方面路線

那須地域の路線バスの運行内容に合わせ、行き先方面のアルファベットを10種類、終着点番号を42個設定し、LED方向幕に表示した。



3 広域連携事業の取組について

③ バス停名称の統一

那須地域内で同じ場所にありながら路線によって名称が異なるバス停について、名称の統一を行いバス停の分かりやすさを向上させました。

【名称統一を行った主なバス停】 →

【実施時期】

- 令和2年度（令和3年4月から運用開始）

事業費 バス音声合成作成 523千円、バス停丸盤作成 438千円 計961千円

【内容】

那須定住4市町と民間路線バスを運行するジェイアールバス関東株式会社と関東自動車株式会社の6者で協議を行い、令和3年4月から次の運用開始

- 同じ場所にありながら路線によって名称が異なるバス停の名称を統一
- 駅の東口と西口をバス停名称に明確に反映させるなど、バス停の設置場所に合った名称変更も同時に実施
- 停留所によっては、これを機に2本あった停留所を1本に統合
- 最終的に49か所で名称の変更を実施

	統一前のバス停名称	バス	改正後
1	西那須野駅東口	ゆーバス	西那須野駅東口
	西那須野駅(東口)	大田原市営バス	
	西那須野駅	関東バス	
2	一区町十文字	ゆーバス	一区町十文字
	一区十文字	大田原市営バス	
3	大女高前	大田原市営バス	大田原女子高校前
	女子高前	関東バス	
4	大田原中学校前	大田原市営バス	大田原中学校前
	大田原営業所	関東バス	
5	金丸小学校前	大田原市営バス	金丸小学校前
	金丸小学校	関東バス	
6	上奥沢	大田原市営バス	上奥沢
	中田原	関東バス	
7	黒羽	大田原市営バス	黒羽郵便局前
	黒羽出張所	関東バス	
8	佐良土	大田原市営バス	佐良土
	光丸山前	関東バス	
9	西那須野駅西口	ゆーバス	西那須野駅西口
	西那須野駅	ゆータク	
	西那須野駅	ジェイアールバス関東	
10	一軒茶屋前	那須町民バス	一軒茶屋
	一軒茶屋	関東バス	
11	旭町	那須町民バス	湯本旭町
	湯本旭町	関東バス	
12	湯本	那須町民バス	那須湯本温泉
	那須湯本温泉	関東バス	
13	川崎口	馬頭烏山線	川崎入口
	川崎入口	馬西線	
14	那須高等学校前	那須町民バス	那須高等学校前
	那須高前	関東バス	
15	旧伊王野小学校前	那須町民バス	旧伊王野小学校前
	伊王野小学校前	関東バス	
16	那須町役場前	那須町民バス	那須町役場
	那須町役場	那須町デマンド型乗合交通	
17	余世公園	那須町民バス	余世川ふれあい公園
	余世川ふれあい公園	那須町デマンド型乗合交通	
18	旧寺子小学校前	ゆータク	旧寺子小学校前
	寺子小学校前	那須町民バス	

3 広域連携事業の取組について

④ 広域連携バス路線の整備

那須地域の行政界を跨ぐシームレスな公共交通網の実現に向け、路線バスの主要幹線区間の結節点であるJR那須塩原駅と西那須野駅における大田原市と那須塩原市のバスの接続性の向上に向け、2市共同で運行ダイヤを作成し、両駅での乗継性の向上を図りました。

【実施時期】

- 令和2年度（令和3年4月から運行開始） 事業費 0千円

【内容】

- 今まで両市で別々に調整していた路線バスの運行ダイヤを、共同でダイヤの調整を行い、乗継性の向上を図った。
- 両市バスの停留所が駅の東口と西口で異なるため、乗継時間を10分から30分に設定し、この時間内に乗継ができる便を「Nコネクト」として両市の時刻表に反映した。
- 那須塩原市運行分のバスダイヤを、朝夕を除き大田原市の1時間おきの運行ダイヤに合わせ、乗継性が飛躍的に向上した。

【那須塩原市ゆーバスの時刻表】
簡易版の大田原市の時刻表も掲載し、乗継性のよい便を「Nコネ」で表示した。

西那須野駅乗り継ぎ案内（大田原市営バス：大田原市）

		Nコネ									
大田原市営バス	T8 大田原市役所	6:05	6:25	—	6:50	7:20	8:15	9:15	10:15		
	T40 那須赤十字病院	↓	↓	—	↓	7:30	8:25	9:25	10:25		
	東武百貨店前	6:24	6:44	—	7:09	7:44	8:39	9:39	10:39		
	W2 西那須野駅東口	6:35	6:55	—	7:20	7:55	8:50	9:50	10:50		
西那須野駅	W1 西那須野駅西口	—	7:15	7:15	7:30	8:10	9:05	10:10	11:05		
	西那須野庁舎	—	7:16	7:16	7:31	8:11	9:06	10:11	11:06		
	轟水パーク前	—	7:18	7:18	7:33	8:13	9:08	10:13	11:08		
	西那須野公民館前	—	7:19	7:19	7:34	8:14	9:09	10:14	11:09		
	西原町	—	7:21	7:21	7:36	8:16	9:11	10:16	11:11		
	狩野宿前	—	7:22	7:22	7:37	8:17	9:12	10:17	11:12		
	西三島5丁目	—	7:23	7:23	7:38	8:18	9:13	10:18	11:13		
	三島3丁目	—	7:24	7:24	7:39	8:19	9:14	10:19	11:14		
	三島	—	7:25	7:25	7:40	8:19	9:14	10:19	11:14		
	三島中学校入口	—	7:27	7:27	7:42	8:21	9:16	10:21	11:16		
ゆーバス	東三島6丁目	—	7:29	7:29	7:44	8:23	9:18	10:23	11:18		
	国際医療福祉大学病院	—	7:32	7:32	7:47	8:26	9:21	10:26	11:21		

3 広域連携事業の取組について

⑤行政界を越えた路線の延伸（乗り入れ）

行政界を少し越えた場所に主要施設（総合病院等）があるにもかかわらず、これまでは行政界に阻まれてアクセスできていない箇所がありました。

那須地域内の住民の移動経路の確保及び新たな人の流れの創出のために、行政界を越えた乗り入れ運行を実施しています。

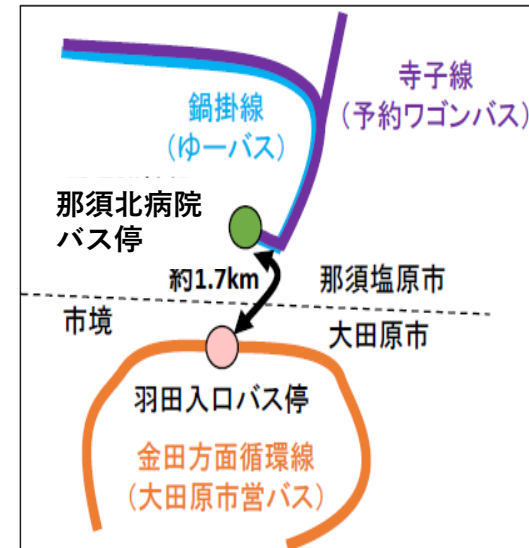
【実施時期】

- 令和3年度（令和4年4月～ 大田原市営バス的那須北病院（那須塩原市）への乗り入れ開始

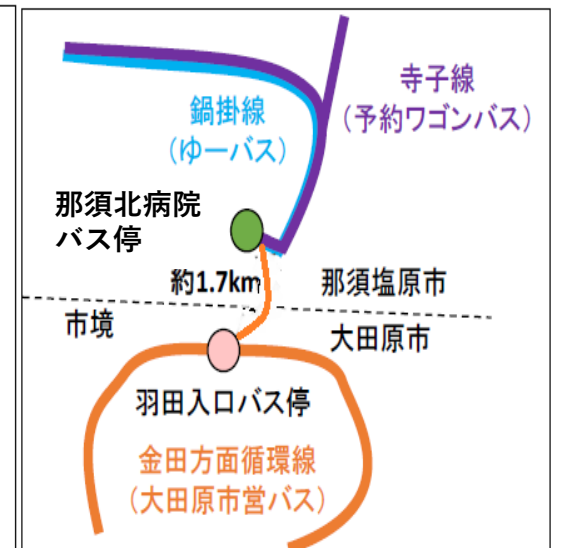
【内容】

- 大田原市との協議の実施（運行ダイヤ等の調整）
- 各市町公共交通会議及び活性化協議会での承認

【乗り入れ開始前】



【乗り入れ開始後】



3 広域連携事業の取組について

⑥ 共通1日乗車券の販売

④の広域連携バス路線の整備に合わせて、大田原市営バスと那須塩原市ゆーバスの両方で使用ができる、共通1日乗車券の販売を開始しました。

翌年度には、那須町民バスと那須塩原市ゆーバス・ゆータクの両方で使用できる、共通乗車券についても販売を開始しました。

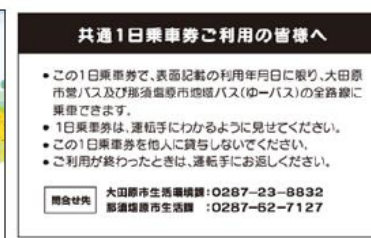
【実施時期】

- ・令和2年度（令和3年4月から大田原市バスと那須塩原市の共通乗車券販売開始）
- ・令和3年度（令和4年4月から那須町と那須塩原市の共通乗車券販売開始）

【内容】

- ・両市町が運行する路線バスに限り、終日乗り放題の共通1日乗車券を導入
- ・運賃は、両市町で販売していた1日乗車券をベースに、追加の割引料金を設定
- ・運賃の精算方法及び精算割合については、覚書を交わして決定している。

料金区分	各市1日乗車券		共通1日乗車券
	大田原市	那須塩原市	
大人	500円	400円	700円
高・大学生	500円	400円	
65歳以上	300円	大人扱い	
小・中学生	300円	200円	400円
障害者(大人)	300円	200円	
障害者(高・大学生)	300円	200円	
障害者(小・中学生)	小・中学生扱い	100円	
乳幼児	無料	無料	無料



料金区分	各市町1日乗車券		共通1日乗車券
	那須町	那須塩原市	
大人	1,000円	400円	1,200円
高・大学生	1,000円	400円	
60歳以上	600円	大人扱い	
小・中学生	600円	200円	700円
障害者(大人)	無料	200円	—
障害者(高・大学生)	無料	200円	
障害者(小・中学生)	無料	100円	
乳幼児	無料	無料	無料

3 広域連携事業の取組について

⑦中学校3年生及び義務教育学校9年生を対象とした高校1日体験学習時の路線バス無料乗車イベント

次年度高校生となる那須地域内の中学3年生及び義務教育学校9年生を対象として例年夏休み期間中に開催される「県立高等学校一日体験学習」の際に、通学手段として公共交通の利用を呼びかけ、実際に乗車体験することにより、那須地域内の公共交通の現状や地域の取組を知ってもらい、圏域内の公共交通のイメージアップと通学利用者の促進を図ることを目的に、無料乗車イベントを実施しています。

【実施時期】

- 令和元、3、4年度（4市町のコミバス、那須塩原市ゆータクを無料化）
（R2年度はコロナウイルス感染症の関係で実施せず）
- 令和5～7年度（4市町のコミバス、那須塩原市ゆータク、民間の路線バスを無料化対象を本人だけでなく家族等の同伴者も可能とした）

【内容】

- 各市町担当者及び民間路線民間路線バスを運行するジェイアールバス関東株式会社と関東自動車株式会社の6者で協議の実施
- 各市町公共交通会議での承認
- 那須地域内中学校3年生及び義務教育学校9年生全員へ乗車券つきのチラシを配布
- 利用状況の集計（R5年度からは各事業者に集計を依頼）

The collage contains several key documents:

- Top Left:** A flyer titled "那須地域、那須塩原市、那須町、大田原市の路線バスで無料体験乗車を実施します！" (We will implement a free bus trial in the Nasu region, Nasu-shimoorigi City, Nasu Town, and Ohtsuru City!). It includes a table of participating bus routes and dates.
- Top Right:** A map titled "那須地域、那須塩原市、那須町、大田原市の路線バス" showing the trial routes across the region.
- Middle Left:** A flyer titled "体験乗車できる日(一日体験学習実施日)" (Days for bus trial (one-day experiential learning implementation day)). It lists specific dates and routes for the trial.
- Middle Right:** A flyer titled "体験乗車できるバス" (Buses available for bus trial). It lists participating bus companies and routes.
- Bottom Left:** A flyer titled "詳しい運行情報や、おりのバスはこちらから" (Detailed operation information and the bus you want is here). It provides QR codes for more information.
- Bottom Right:** A flyer titled "那須塩原市ゆータク" (Nasu-shimoorigi City Yu-taku) and "大田原市" (Ohtsuru City), providing specific details for these services.

3 広域連携事業の取組について

⑧中学校2年生を対象としたモビリティマネジメント

那須地域においては、自家用車の保有率が高く、それに伴う交通渋滞や環境負荷、さらに将来的な公共交通の衰退傾向が課題となっています。

少子高齢化が進む将来を見据え、自動車依存から公共交通への利用転換を図り、持続可能な地域交通体系を構築していくことが求められています。

こうした背景を踏まえ、将来の交通行動に大きく影響する若年層に公共交通の現状や利活用について考え、理解を深めてもらうことを目的として中学2年生を対象としたモビリティマネジメントを実施しています。

【実施時期】

- ・令和7年度 新規事業 那須地域内で2校を選定し実施

【内容】

- ・令和7年12月4日に那須塩原市立東那須野中学校2年生113名を対象に講義形式で実施
授業の構成は、①全国の交通の現状、②那須地域、那須塩原市の交通の現状、③公共交通を利用するメリット、④高校進学後の交通手段、⑤アクションプランの作成（ワーク）、⑥時刻表の見方、バスの乗降方法
- ・令和8年2月10日に大田原市湯津上中学校において講義形式＋ワークショップ形式で実施予定



4 広域連携を実施する効果等

(1) メリット

① スケールメリット

・広域交通網の構築ができる

2040年問題への対応のため公共施設や病院などの統廃合が進む中、今後は各自治体内のみの移動で生活ができなくなる可能性があり、広域での交通ネットワークの構築が重要になってきます。

・1自治体だけでは効果の薄い取組を複数自治体の連携で効果的に実施できる

複数の自治体が同じ目標に向かって、同じスケジュール感でダイヤ改正や各種取組を実施するので、広域目線での効果的な取組が実施でき、地域内の公共交通の利便性が飛躍的に向上します。

[効果的な取組例：広域バスマップ、バス路線番号の設定、広域連携バス路線の整備等]

・運行効率の向上

複数の自治体が行政界を跨ぐバス路線を整備し、相互運行や共同運行を実施できれば広域で所有するバス車両すべてを活用して、効率的な運行や乗継なしの便利なバス路線を整備することができます。

那須地域定住自立圏でも、相互運行や共同運行を実現できないか検討を進めておりますが、各市町の運行形態及び運賃形態が異なること（乗ったバスにより料金が異なってしまう。）、運行経費の負担方法など調整を要する事項が多数あり、引続き検討を進めて行くことを予定しております。

4 広域連携を実施する効果等

③ その他のメリット

- 定期的に近隣自治体で集まる機会があるので、タイムリーに情報を共有行うことができます。
- 令和2年10月に活性化再生法が改正され、すべての自治体が地域公共交通計画を策定することが努力義務化されましたが、広域での計画策定も認められています。

(2) デメリット

• 事務局の事務負担増

広域連携を行う事務事業において、全体的な事務負担は軽減されますが、反面、事務局を行う自治体は各自治体や運行事業者の意見集約や契約事務、会議等の調整を行うこととなりますので、自己自治体の業務の他、広域連携事業の事務負担が発生します。

(3) 広域連携で苦勞すること

- 複数の自治体や関係する交通事業者との会議等、スケジュール調整が大変（市町長が参加する会議は、何か月も前からスケジュール調整を要します。）。

5 今後の連携予定について①

現行計画期間満了まで（令和9年度末まで）

2次計画の連携事業を推進する中で、主に次の取組実施を検討していきます。

- **3市町（那須塩原市、大田原市、那須町）による路線バスの共同運行等の検討**

大田原市と那須塩原市の2市間における、一部路線の乗り入れを行っているが、利便性を高めるために共同運行について検討を行っています。

また、那須町と那須塩原市の2市町間における、路線を対象に、利便性及び運行効率の向上を目的として、運行ダイヤの共同作成や相互運行の検討を行う予定です。

- **路線バスへの交通系ICカードの共同導入**

那須地域においては、現状として、民間の路線バス、那須町営バス以外は交通系ICカード等のキャッシュレス決済に対応していない状況であるため、那須地域全体での導入について検討を行っています。

また、既存の共通1日乗車券との兼ね合いについても検討を行う予定です。

【地域連携ICカード「totra」】



※「totra」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

5 今後の連携予定について④

・ 4市町路線バスの運賃区分等の統一

4市町が運行する地域バスについては、それぞれ運賃区分（年齢、障害の有無等）が異なり、わかりにくい状況にあるため、運賃区分の統一について検討を行う予定です。

■地域バスの運賃区分（令和7年12月現在）

市町	大人運賃	高齢者運賃	障害者運賃
那須塩原市	200円	設定なし	100円
大田原市	200円	65歳以上 100円	100円
那須町	500円	60歳以上 300円	無料
那珂川町	150円～500円	設定なし	半額

※大田原市の高齢者運賃はマイナンバー・市民証の掲示が必要

・ 電気バス車両の導入促進

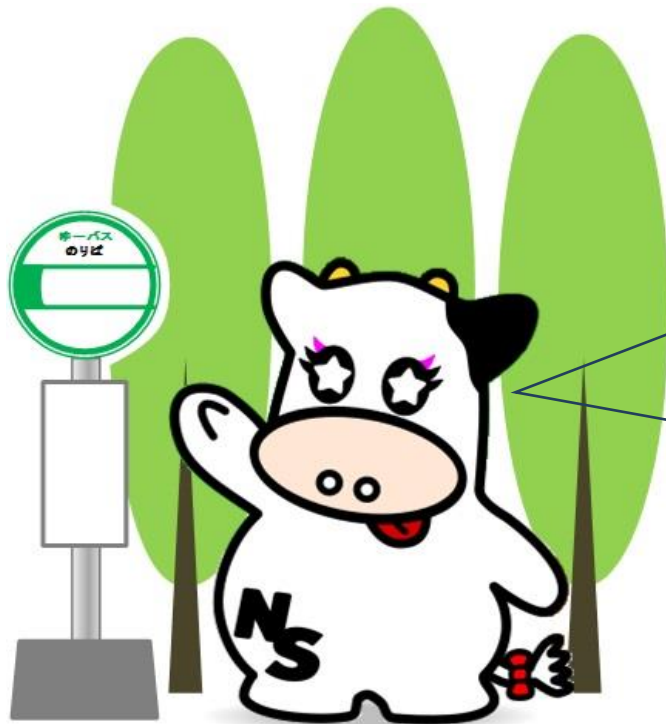
地球温暖化対策の一環として、各種補助金等の支援を受けながら、那須地域全体での電気バス車両の導入について検討を行う予定です。



6 おわりに

公共交通を取り巻く環境は年々厳しくなっています。

- 財政難による担当職員数の減、公共交通の予算の縮小
公共交通は赤字運行が基本 風当たりの強さ・・・
- 運転手等の現場で働く方の減少
- 一方では、高齢者の増加等による公共交通への要望が増加
路線の延長・増便
要望を言う方ほど公共交通を利用しない 実際の需要がわからない



近隣自治体と広域連携を実施する一番のメリットは

「同じ境遇の仲間が増え、

お互いが支えあうことができること。」

良いことも悪いことも共有できます。

ご清聴ありがとうございました。

